

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第44回部会）会議録

日時：令和5年7月13日（木）午後7時5分～午後8時25分
場所：東淀川区役所3階区民ホール

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 活動報告及び意見交換
(2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ まちづくり通信／第43回議事録
- ・ 変わりゆく西部地域のまち、他
- ・ 身近な公園／紹介
- ・ その他

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(1) 活動報告及び意見交換

(事務局)

- ・ 毎回、部会開催後に会議録を作成し、区のホームページに掲載している。かねてから、「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会では、何をしているのかわからない」「地元に戻ってから（会議の内容を）伝えるのに苦労する」といった意見があったので、今回初めてA4一枚ものの「まちづくり通信」を作成した。会議録とあわせ、活用いただきたい。
- ・ 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会の広報について、まちがどのように変わっていくのかを伝える資料として、A3見開きの資料「変わりゆく西部地域のまち」などを作成した。活動をよく知らないかたにも、これらを使って地域でも広めていただきたい。記載内容はたたき台として作成したので、皆さんからご意見をいただきたい。

(質疑応答)

(部会員)

- ・ この会議で何をしているのか、いまだに説明が難しい。これらの資料によって、この会議が目指していることが端的に伝わると良い。最近では情報交換が主になっているので、何を検討しているのかを改めて見直してみるとよいのでは。例えば、協議会が踏切をなくしたわけではないが、このようにまちが変わっていくのでまちの変化に対して地域は何をしていくのかを議論・検討しています、ということだと思う。

(久教授)

- ・ プロジェクトが動いたところ、変わったところがそろそろ出てきている。例えば、JRおおさか東線が開

業し、JR淡路駅ができたことや、JR東淀川駅の「開かずの踏切」がなくなったことで、地域や生活がどのように変わったのか、一つずつ検証していくのがやりやすいのではないかと。

(部会員)

- ・「まちづくりプロジェクト」について、できたところとこれからのところを色分けすればわかりやすいと思う。
- ・「変わりゆく西部地域のまち」の資料のなかに、企業が勝手に無秩序に事業を進めないように、地域でも将来像を考えよう、という当初の趣旨を書き込むべき。

(部会員)

- ・先ほどのお話はこの協議会の基本であって、地域の意見や要望がすべて叶うわけではないが、協議会は地域の意見をまとめていく場である、という理解でよいか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(部会員)

- ・地域からの意見がこのように実現した、という成果が出ているのであれば、話もしやすく、活動も進めやすくなると思う。

(事務局)

- ・もと西淡路小学校跡地検討においてまちづくり構想に沿った検討が進められている事例がある。記載内容を工夫してみる。

(部会員)

- ・協議会からの100の提言のうち、少しでも実現できたことを、例えば、毎年年度末にチェックして、更新していくとか、伝えられると良い。

(久教授)

- ・私自身はJRおおさか東線を利用して、以前に比べてとても便利になったと感じているが、地域の皆さんはどうか。

(部会員)

- ・雰囲気は変わってきたように感じる。JR淡路駅の乗降客数や運行本数などのデータがあれば知りたい。実際に、地元は潤っているのか。

(部会員)

- ・JR淡路駅からはすごい人数が降りてくるので、これをキャッチできていないのであれば、非常にもっていない。

(事務局)

- ・阪急高架化などの完了まで様子見しているのかもしれない。

(2) 話題提供及び意見交換

(事務局)

- ・前回の会議でもお伝えした建設局の「パークファン」に関連して、他の地域での「身近な公園の使いか

た」について、話題提供する。

(事務局)

- ・ 前回の会議では、各地域の部会員の皆さんから、コロナ以降、公園や小学校などでの地域のイベントで、子ども達や若い人を呼び寄せたいという意見が出ていた。今日は色々な公園の使われかたについて紹介する。事前に各部会のホームページなどを拝見したが、コロナ前は活発に様々なイベントや企画をされていた地域も多いと思う。コロナ以前にやっていたことを思い出したり、これから何をしようかと考える参考にしていきたい。

(質疑応答・意見交換)

(部会員)

- ・ 湊川公園（神戸市）の芝生の管理は、誰がしているのか。天王寺公園にも芝生があり、印象が良くなったが、管理が大変だと聞いている。管理のしやすさは大切だと思う。

(事務局)

- ・ 公園の管理者は神戸市だが、実際に作業をしているのは地元の方かもしれないので、次回までに調べておく。

(部会員)

- ・ 大阪市の公園では、ごみを持ち帰ってもらうため、公園内のごみ箱を減らしている。そのかわり、公園の近くの商店街のごみ箱にごみがあふれかえっている。たばこの吸い殻のポイ捨ても多い。安心して来てもらえるような公園は、地域で愛されている公園で、大切に使われているのだと思う。
- ・ 公園をイベントで使ってみたい人たちと、昔から公園の掃除などに関わってきた人たちが異なり、調整が難しい場合もあると思う。そのような場合の調整はどうすればよいか。

(事務局)

- ・ 大阪市の「パークファン」は、そのような場合のサポートや調整をする立場で建設局が入ってくれると思う。

(部会員)

- ・ 公園は、誰にとっても身近なようで、実際には誰が管理しているのか、利用者同士の調整をしているのか、わかりづらい。イベント毎に個別に使用許可の手続きをするよりも、自分たちが公園の管理をやっ飛ばしてしまおう、公園で収益を上げて、費用を賄いながら管理していこう、という考えかたもあるのか。

(部会員)

- ・ 大阪万博に向け、大阪市では道路上の喫煙は全面禁止になるのか？代わりに、喫煙所を設置するのか？

(事務局)

- ・ そのような方向で進めているようだ。喫煙所は公設だけでは足りないので、助成金で民間事業者にも設置してもらう計画のようだ。

(部会員)

- ・ 特に小学校付近でのたばこのポイ捨てが多く、「大人がこんなことをしている」と子ども達に悪い印象を与えている。規制や罰金をかけて、ハッキリとルールを打ち出してほしい。
- ・ 先ほどの話題で、きれいになった公園付近に民間が建物などを建てる事例や、公園などの設備投資や維持

管理を民間が行っている事例は多いのか。

(久教授)

- ・大阪であれば、南千里公園や千里中央公園は、民間事業者が指定管理者として、整備を進めている。
- ・八尾市では、歩行喫煙、いわゆる歩きタバコを市内全域で禁止している。八尾南駅の喫煙所は、たばこの販売者が整備している。

(事務局)

- ・公共の敷地内にカフェを出店する際、店舗周辺の清掃活動などの維持管理や公共トイレの併設、地元のまつりなどへの参加・協賛などの事例がある。

(久教授)

- ・以前、路上生活者のかたに、ブルーシートのある公園と無い公園はどのように違うのか、ヒアリングをしたことがある。地域の皆さんがあまり使っていない公園を選んでいるようだ。地域の皆さんがほったらかしにしている公園だから、寝泊りしています、ということである。

4. その他

- ・次回の部会は、9月14日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

5. 閉会

以上